

利根町教育委員会定例会会議録

令和5年5月30日 午後3時00分開会

1. 出席委員

教 育 長	海老澤 勤 君
教育長職務代理者	佐藤 忠信 君
委 員	石井 豊 君
委 員	巻島 久 君
委 員	川上 有香 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	中村 寛之 君
指導課長	丹 晴幸 君
生涯学習課長	弓削 紀之 君
学校教育課係長	吉田 慎太郎 君
学校教育課主事	本谷 梨香 君

1. 議事日程

議 事 日 程

令和5年5月30日（火曜日）

午後3時00分開会

- 日程第1 報告第15号 利根町いじめ問題調査委員会調査委員の委嘱の専決処分について
- 報告第16号 令和5年度利根町一般会計補正予算（第1号）教育関係予算の意見の申出に係る専決処分について
- 報告第17号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等（会計年度任用職員）について
- 報告第18号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（令和5年4月分）

- 日程第 2 議案第 32 号 利根町図書館管理運営規則の一部を改正する規則について
日程第 3 その他

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 報告第 15 号 利根町いじめ問題調査委員会調査委員の委嘱の専決処分について
報告第 16 号 令和 5 年度利根町一般会計補正予算（第 1 号）教育関係予算の意見の申出に係る専決処分について
報告第 17 号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等（会計年度任用職員）について
報告第 18 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について（令和 5 年 4 月分）
日程第 2 議案第 32 号 利根町図書館管理運営規則の一部を改正する規則について
日程第 3 その他

午後 3 時 00 分開会

○教育長（海老澤 勤君） ただいまより令和 5 年 5 月の教育委員会定例会を開催いたします。今日ご審議いただく議案は報告 4 件，議案 1 件でございます。

議題に入ります前に，報告第 15 号，利根町いじめ問題調査委員会調査委員の委嘱の専決処分について，及び報告第 17 号，教育長に委任された事務の管理及び執行状況等，会計年度任用職員について，につきましては人事に関する案件のため，また，報告第 16 号，令和 5 年度利根町一般会計補正予算第 1 号，教育関係予算の意見の申出に係る専決処分について，につきましては，町長の公正円滑な町政執行を確保する観点から，地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項のただし書きに基づき非公開にしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ただいまご承認いただきましたので，報告第 15 号から第 17 号を非公開といたします。

日程第 1，報告第 15 号，利根町いじめ問題調査委員会調査委員の委嘱の専決処分についてを議題といたします。

本議題は非公開と決定いたしましたので，傍聴人は一時ご退出をお願いいたします。

〔傍聴人が退出〕

○教育長（海老澤 勤君） 傍聴人が退出しました。担当課長に説明を求めます。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） 説明が終わりました。ご意見、ご質問ございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） では、報告第 15 号、利根町いじめ問題調査委員会調査委員の委嘱の専決処分について、につきましては、案の通り承認いたします。

○教育長（海老澤 勤君） 続きまして報告第 16 号、令和 5 年度利根町一般会計補正予算第 1 号、教育関係予算の意見の申出に係る専決処分についてを議題といたします。担当課長に説明を求めます。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） 説明が終わりました。ご意見、ご質問ございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） それでは、報告第 16 号、令和 5 年度利根町一般会計補正予算第 1 号、教育関係予算の意見の申出に係る専決処分について、につきましては、原案の通り承認いたします。

○教育長（海老澤 勤君） 続きまして、報告第 17 号、教育長に委任された事務の管理及び執行状況等、会計年度任用職員についてを議題といたします。担当課長に説明を求めます。

（「非公開」により省略）

○教育長（海老澤 勤君） 説明が終わりました。ご意見、ご質問ございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**教育長（海老澤 勤君）** それでは、報告第 17 号、教育長に委任された事務の管理及び執行状況、当会計年度任用職員について、につきましては原案の通り承認いたします。

○**教育長（海老澤 勤君）** 非公開と決定した議案が終了しましたので、ここで傍聴人の入塾入室を認めます。

[傍聴人が入室]

○**教育長（海老澤 勤君）** 会議を続けます。続きまして報告第 18 号、利根町教育委員会後援名義の使用承認についてを議題といたします。担当課長に説明を求めます。

○**生涯学習課長（弓削 紀之君）** はい。報告第 18 号、利根町教育委員会後援名義の使用承認について、4 月分を報告いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条第 3 項及び利根町教育委員会事務委任規則第 4 条第 2 項の規則規定により、別紙の通り報告いたします。3 件、承認しております。次のページをご覧ください。

申請団体名、体育大会実行委員会、事業名、豊島杯体育大会、開催日、令和 5 年 4 月 29 日土曜日から 30 日日曜日がバスケットボールです。令和 5 年 5 月 4 日木曜日、バレーボール、場所、利根中学校、藤代中学校、永山中学校、目的、大会を通して、近隣の中学校生徒の交流やスポーツの振興、競技力向上、体力の増進を図ることを目的としております。

対象者は利根町、取手市、龍ヶ崎市の中学校生徒です。では次のページをお願いします。

申請団体、利根写楽会、事業名、利根写楽会写真展、開催日、令和 5 年 5 月 10 日水曜日から 16 日火曜日まで、場所は役場多目的ホールとしまして、写真活動を通じ、思い思いに心に触れた被写体を写真として切り取り、相互に研鑽を積み、会員同士の交流親睦及び写真知識や技術の向上を目的としております。対象者は町内者です。では次のページをお願いします。

申請団体、特定非営利活動法人取手文化クラブ。事業名、アフタースクールカンパニー、令和 5 年 6 月から令和 6 年 3 月まで、年間講演となっております。場所は取手市、取手市立福祉会館の公民館、目的ですが、地域文化活動として、小学 5 年生から高校 3 年生までを対象に、ダンス、仮装演劇など舞台表現を総合して一つの作品を創造することを目指し、さらに子供たちが地元地域との繋がりをより深め、さらに地域に根差した音楽コミュニティを構築することにつなげることを目的としております。対象者は小学 5 年生から高校 3 年生となっております。以上です。

○**教育長（海老澤 勤君）** はい。説明が終わりました。ご意見ご質問等ございますか。はい。佐藤委員。

○**委員（佐藤 忠信君）** この豊島杯という大会なんですけど、大分長くやってると思うんで

すね。私が中学生のときにですね、バスケットボール部員として参加したのですごく懐かしい響きなんです、今この近隣の取手市や龍ヶ崎市の中学校生徒ということで、一緒にスポーツをされてると思うんですが、もうその部活の部員の数が減ったりなんかしてると思うんですが、やっぱり他市町村のばらつきってあるんで、あるところはそういう部活が充実してて、前に取手だったかな、バスケットボールがすごい強かった時代もあつたりしたんですが。今どんな状況なんですかね。

○教育長（海老澤 勤君） はい。指導課長。

○指導課長（丹 晴幸君） 部活の人数的な部分に関してはその年、年によって結構変わってしまうところがあるので、ここの部が充実してますっていうのは、なかなかちょっと言いづらいところはあるかなと思ってます。私の記憶では野球部が一時期、他市町村と合同チームを作らざるをえないような状況があつたんじゃないかなと思ってるんですが、今のところ利根中学校の部活動についてはそういうものは起きてはいません。

ただ、一年生が入る入らないによってかなり苦しい状況になる部活があると思いますし、今後ちょっと予断を許さないというか、突然部活の運営がままならないという状況は起きてくるのかなと思います。

また長期的なスパンで考えると、現状の部活動を維持していくことはまずもって難しいだろうっていうのは思っていますので、中学校の方には今後の削減していく部活動について考えていただくっていうことに関しては学校の方には話をしてあります。

○教育長（海老澤 勤君） 補足をすれば、私が利根中勤務の時もありました。时期的にゴールデンウィークに重なって、バレーボールとバスケットをやはりやりました。時期が総体前のちょうどいい時期に、練習試合として組まれる近隣の中学校が腕試しというか、前哨戦、総体のね、前哨戦の位置付けで、この大会に臨んでいたなっていう記憶がございます。

ただ会場が当時は、竜南の体育館を使って、利根中と竜南の体育館、今回は利根中学校、藤代中学校、永山中学校、取手の中学校も会場になってると。その辺が違うかなというところですね。

○委員（佐藤 忠信君） 私も、利根中でやったこともあつて、あと藤代中でもやったことがありましたので、龍ヶ崎市の中学校も統合したりしてると思うんですが、いよいよ少なくなってくるかなと。なぜこんなことを聞いたかという、いよいよもって市町村がですね、部活が地域移行になっていくというところで、どんどん部活が減ってしまつてですね、何か意味があるのかなという、ちょっと思ったものですから。

○教育長（海老澤 勤君） どの町も部活動の地域移行、地域クラブ活動の位置付けで、去年から進めてますが、近隣とのやはり情報交換なり、子供がやりたいスポーツがあるいはクラブが無くなってしまうっていうのはかわいそうだと思いますので。その形をこれからも探っていきたいと思います。

○委員（佐藤 忠信君） わかりました。ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） 他にいかがでしょうか。はい。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○**教育長（海老澤 勤君）** では報告第 18 号，利根町教育委員会後援名義の使用承認について，につきましては，原案の通り承認いたします。

続きまして議案第 32 号，町図書館管理運営規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。担当課長に説明を求めます。

○**生涯学習課長（弓削 紀之君）** 議案第 32 号，利根町図書館管理運営規則の一部を改正する規則について説明いたします。利根町図書館管理運営規則の一部を別紙の通り改正する。提案理由としまして，図書館資料の個人向け貸し出し点数及び期間を変更し，町民の利便性の向上を図りたいので提案するものです。

それでは，次，新旧対照表，次の次のページの新旧対照表をご覧ください。利根町図書館管理運営規則新旧対照表，第 18 条第 1 項の表中，10 点以内を 15 点以内に，2 週間以内を 3 週間以内に改めるものです。付則としまして，この規則は公布の日から施行する。

以上でございます。

○**教育長（海老澤 勤君）** はい。説明が終わりました。ご質問，ご意見ございますか。はい。佐藤委員。

○**委員（佐藤 忠信君）** 点数と期間が延びるということで，借りる人の利便性は上がると思うんですが，例えばその人気の図書とかそういったものが，今度，借りられる期間が長くなると，次に借りたい人が 1 週間分が遅くなってしまうということで，1 ヶ月近く待たなきゃいけないと，ちょっとそれはかわいそうかなと思ってるんですが，例えばそういった人気のある図書は多めに入れるとか，それから，ただし館長が特に必要と認めたときはこの限りでないとなってるので。18 条ですかね。なので，それはちょっとこれは人気あるから，10 日でやめとこうとかそういったことが可能なのかどうかという，ちょっとお聞きしたい。

○**生涯学習課長（弓削 紀之君）** 人気の図書等については，そういうデメリットも考えられるところなんですけど，今まで新型コロナウイルス対策として，コロナウイルスが増えた時から，運用としまして，貸出冊数 15 冊，貸出期間 3 週間を運用として実施して参りました。

その中でも，特に支障というのはないところで，今，佐藤委員がおっしゃったように，人気のあるものは少し多めに購入したりすることは可能ですので，そういう形で対応していきたいと考えてます。

○**教育長（海老澤 勤君）** 大丈夫ですか。はい。他にいかがですか。はい。石井委員。

○**委員（石井 豊君）** 私も佐藤委員と同じ質問しようと思ったとこなんですけど。事前にちょっと私の方で図書館の職員の方にちょっとお聞きしたところ，いま生涯学習課長が言われた通り，やっぱり運用をやった時に苦情はなかったと担当職員の方からちょっと

とお聞きしました。その場合、同じことを繰り返してしまわれますけど、人気のある図書の方はちょっと延びて、予約を取ったらどんどん遅くなっちゃう。そういったことも考えられるけどっていうことをちょっと職員の方にちょっと確認したんですけども、今のところやっぱり、おっしゃられたように、ないっていうことだったので、そういったことがなければ、借りる方はメリットの方が大きいのかなと思ったところです。以上です。はい。質問っていうあれじゃなかったですね。

○教育長（海老澤 勤君） はい。その他いかがでしょうか。よろしいですか。はい。巻島委員。

○委員（巻島 久君） 貸出件数とか期間のことからはちょっとずれるんですけども、以前、図書館の利用のことについて議題が上がったときに、なるべく気楽に、あまり堅苦しくないような雰囲気、サロンのような雰囲気で図書館を運営するのがいいんじゃないでしょうかみたいなことで話題を出して、例えば自動販売機なんかも中に置いて、ちょっとコーヒーでも飲みながら、サロンのような雰囲気で図書館に若い人がいっぱい集まるような雰囲気を作っていくのがいいんじゃないでしょうかってような話を出したことあるんですけども、現在の図書館の利用状況などで、若い高校生とか、一般の人が図書館に結構集まっているとか、コロナが流行ってしまったので、あまりそういう状況が見られないのか。貸し出しの方は、結構、記録が残ってるでしょうから、貸し出しは今までの実績から考えてこういうふうに工夫したなんていうことをよくわかるんですけども、図書館そのものに入って、資料を読みあさるとかそういう状況などについては、どうなのでしょう。あんまり子供が集まることはコロナのせいであつたとか、いや、結構増えてきたとか、その辺ちょっとお聞きできたら。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） はい。やはりコロナ期間が長く、大分貸し出し、人数的には減ってまして、その年代、利用の年代の資料が手元になくて申し訳ありません。

また、去年は図書館の空調工事で1年間、約1年文化センターの方で、仮設の貸し出しということで、4年度は大分減っているところです。今、巻島委員が仰ったように、気楽に入るような、サロンのような図書館もこれから、目指していきたいと考えております。

○委員（巻島 久君） 実はですね、取手市の桜ヶ丘あたりから、自転車で利根町の図書館に来て、利用してるような人がいたんですよ。私、田んぼであの辺にいた時に、偶然、以前知り合いだった人たちにどうしたんですか、なんて話したら、利根町の図書館は、そんなに混んでなくて、借りやすいし、蔵書もかなりあるので、結構重宝してるんですけどって話があったんです。それはコロナが始まる前の話なんですよ。だから、他の図書館などから見ても、何て言いますかね、魅力のある図書館にしていく方が、利根町の人だけじゃなくて、他からも集まるようなね、龍ヶ崎の南が丘とかね、近隣に近いところだと、取手市の小文間地区とかね。ああいうところから集まりやすいようにするのも一つのあれかなということで、さっき言ったような、入りやすい、魅力のある図書館って話をちょっと出したのもそういうことがあってなので、なんて言いますかね、形式的なことにあんまりとらわれない

で、たくさん利用する人がいっぱいいるような図書館を目指してですね、頑張ってくださいね。

ある人がからかい半分で、文地区の学校周辺、文小周辺は文教地区だからなんていう人がいるんですよ。図書館があるからかもしれないんですけど、散歩がてらに図書館に寄ってみようかみたいな雰囲気が出ればいかなっていうことを感じましたので、コロナが明けてね、この後、利用状況なども注視して行って、なるべく多くの人が借りる、または中に入って本を読んで充実した時間を過ごす、または極端なことを言ったら、受験生などがそこに集まってですね、一緒に勉強したりして情報交換をすとかね。大学受験を目指してる人があそこに来て受験勉強するみたいなことでもいいと思うんですけども、そういう図書館になって欲しいなっていうのは、いち希望としてあるので、ちょっと聞いてみました。

○教育長（海老澤 勤君） 月1回、それぞれの課と情報交換を教育長として持つてんですが、つい最近の情報では、課長からもあった、空調機器の工事が終わりました。かなりの台数が入りました。さらに5月8日からコロナウイルスが、2類から5類へというところで、飲食も全部ではないですけども、以前の形で進めますと、いうことで確認をしています。これから暑くなってくると、涼しいところで、本を読んだり自分の勉強したりという、高校生、中学生増えてくるのではないかなという予想がされます。

○委員（巻島 久君） コンビニとか、ちょっと心配なゲームセンターとか、カラオケ店なんかには中高生が集まるよりは、ずっと望ましい方向じゃないかと思うんですね、図書館に自転車とかいっぱい集まってね、中で漫画を読む子もいたり、勉強したりする子もいたり、集合場所みたいになってもいいと思うんですけど、そういうふうになってもらえればなというふうに、地元のいち住民としては思っているのです。

○教育長（海老澤 勤君） 図書館を持つていうのはほとんどの市が持つてるとは思うんですが、町で、あるいは村で、図書館を持つていうのはすごくステータスとしては高いところ。さらに建物自体の質がですね、素晴らしいですよ。予算的に経済的に、利根町が右肩上がりのような時期に作られたものなのかもしれませんけども、せっかく立派な建物ですので、中身もね、有効に使っていただいて、たくさんの町民がね、幸せを感じていただけたらありがたいと思います。他にいかがですか。弓削課長、どうぞ。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） 図書館関連で、今現在、図書館には自動販売機がないんですよ。これから夏に向けて、やはり人が集まるためには、自動販売機が必要と考えますので、今、伊藤園さんの方に、自動販売機を置いてくれないかという形で打診はしてるところです。でも、やはり伊藤園さんからすれば、自動販売機を置くのにも町で使用料、設置料と電気料をいただくような形になってまして、そこの折り合いがつけば、自動販売機を置いていただけるような形になると思うんですが、今、伊藤園さんの方に打診してるところでございます。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） 他にいかがですか。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） 二つ聞こうと思って、その一つが今の話だったんですが、例えば

販売機に限らず、よく病院とかにあるカップのものがあると思うんですけど、そういうのはやっぱり高いものなんですか、カップでコーヒーとかジュースが出てくるのが病院にあるんですよ。今は蓋つきで出てくるものもあるので。ああいうのは比べるとどうなのかなと、ちょっと思いました。わからないですよ。

○学校教育課長(中村 寛之君) そのようなサービスはわかるんですけど、ただその場合も同じように、自動販売機を置く場合の設置料と、あと電気代っていうのはあります。おそらくリースの方が安くなるっていうのは実際わかるんですけども、今の町の決まりの中では、それを入れたことによってもお金は発生します。それで、その業者さんが利益が出るかという問題があります。実際、図書館につきましても、一度違う業者さんが入ったんです。それで利益が赤字になっちゃうっていうことで、図書館であつたり、文化センターの方もやめたという経緯は実際にあります。コロナ禍で余計そういうことが発生してしまったと。全然利益が出なくてお金だけ払うしかないっていう。それで、図書館の方は今現状無いと。弓削課長の方で、伊藤園ということなんですけど。多分今の状況ではなかなか難しいっていう。

○委員(佐藤 忠信君) 例えば商工会にお願いして、よくイベントでやってるような形で、ちょっとスペースを提供するとかそういうのも厳しそうですね。

○学校教育課長(中村 寛之君) 社会教育の場所に図書館はなっているので、文化センターはそういうのを考えて使えるっていう形になってるんですけど、そういう意味で今縛りが、図書館はありますので。

○委員(佐藤 忠信君) なるほど。逆に言えば文化センターさんに行って飲み物を買ってからと。

○学校教育課長(中村 寛之君) 今現状は本当そういう形ですね。

○委員(佐藤 忠信君) わかりました。

○学校教育課長(中村 寛之君) だからあとはその料金的なもので、熱中症云々っていうところで町の方で規則、町の徴収条例が確かあったと思うので、その辺を変えていただくようなことをしないと、業者さんが入ってくるのはなかなかきついかなと。結構、各施設でそういうものってあるんですよ。例えば霊園とかにも無いので入れて欲しい。ただ、利益も出ないんで入れられない。

○委員(佐藤 忠信君) わかりました。あともう1点なんですけど、いよいよ小学校3校が統合して、図書室もそれなりに充実してきてると思うんですけど、学校の。以前から図書館と学校の図書室をオンラインで検索して、お互いにどの蔵書があるかっていうのを教えて、あそこへ行けばこの本を借りるだとか、そういうものが、わかるような仕組みっていうのは、

○教育長(海老澤 勤君) はい。中村課長。

○学校教育課長(中村 寛之君) 今現状が利根小学校にだけシステムの方が入っております。今度考えていたのは、佐藤委員おっしゃったように、図書館、利根中学校と利根小学校の3つで、システムを入れたいというような予算で計上はしたんですが、それなりにやっぱ

りその3つでやると予算がかかるということで、はい。利根中学校だけ、今年度の予算で、利根中学校と利根小学校が同じものを入れて、やりとりができるという体制で、あと図書館につきましては、直接一緒にはできないということになります。

○委員（佐藤 忠信君） わかりました。

○教育長（海老澤 勤君） よろしいですか。他に。いかがですか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） では、議案第32号、利根町図書館管理運営規則の一部を改正する規則につきまして、原案の通り承認いたします。

○教育長（海老澤 勤君） 続きまして、日程第3、その他でございます。何かございませうでしょうか。はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） 先ほど委員さんの方にお配りしたんですけど、今日、メールが来まして、茨城県庁、県内小中学校、高校、公共施設、隔壁病院の施設内の複数の箇所に高性能な爆弾を設置したってということで、こちらはちょっと判断しにくいんですが、発信が5月29日23時49分ということで、今日なのかなっていう。最初見たときには明日なのかなって思ってたんですけど、この時間ですと、今日の13時34分から20時10分ってことだと思われまうので、教育委員会としましては、本日15時頃からパトロールをしております。町内小中学校の下校の時間、何もなにかということで、パトロールをしております。また指導課の方から各保護者の方に、メールでこういうことが来てますというお知らせ、学校の方にも気をつけてくださいってことでお知らせしております。町としましては、施設を持っているところの管理者及び担当職員1名が、この20時10分まで待機するということになっております。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） はい。他にいかがですか。はい。石井委員。

○委員（石井 豊君） 利根小学校が4月に開校をしまして、今約2ヶ月間ですか。今のところ、私の方で把握してる分には、大きな問題等はちょっと報告っていうか、私の知り得る限りではそういったものはちょっと聞いておりませんが、学校あるいは教育委員会の方で何かいろいろこうしてほしい、ああして欲しいとか、そういった要望や何かそういったものが、今ありますでしょうか。

○教育長（海老澤 勤君） はい。では中村課長から。

○学校教育課長（中村 寛之君） はい。学校側と、月1回程度、連絡調整会議、打ち合わせということで行っております。4月、5月とも2回行いました。その中で中心に話に出るのは、バスの件です。すごい大きな問題ではないんですけど、バスでちょっといざこざがあったとか、予定時刻より早く到着してしまうとか、あとは逆に、この間、巻島委員の方から

も出たように、学校へ着くとすぐ朝の会になってしまうということで、ちょっと時間をもう少しバスの時刻を早めようとか、少しの問題ですけど、そういうものがあるので、いい方向になるように、随時直したりしてるという状況です。

あとは児童クラブのところですね、児童クラブが今3ヶ所でおこなってます。旧文小学校と旧文間小学校にその児童クラブの子供だけを連れて行くのにバスを出したりします。ですから、1回で乗りきれない子供を利根小学校で見て、さらにバスに乗せてっていうことで、先生方の仕事がそれだけちょっと増えてしまうのかなというところの意見があります。そういうものについては町側、教育委員会とあとは子育て支援課、その辺でできる範囲の手伝いというか、できるように今、子育て支援課の方と話をしてるところです。

学校教育課は以上です。

○委員（石井 豊君） そういった児童クラブの問題とかそういったやっぱりこの子供の方、児童生徒、これは大事なのでそこをきっちりケアしてもらいたいような形で、ちょっと大変申し訳ないんですけども、工夫してやっていただきたいと思います。

○教育長（海老澤 勤君） はい。ありがとうございます。指導課長の方から、その子供の様子について簡潔にお願いします。

○指導課長（丹 晴幸君） 学校が開校してから何回か学校の方を見させていただきました。年度当初、落ち着かない様子っていうのは確かにあるかなあというふうに思います。この辺りは理由として、一気に児童数が増えたことによって、私は布川小学校のイメージがあるものですから、廊下を歩く子供たちの量が、これだけいるんだっていうだけで、何となく言い方を変えれば活気がある学校になったかなというイメージもあるんですけども、そういう印象はあります。

それから一般の学校ってこの4月当初、3名ぐらいの先生が出たり、新しく入ってきたりというところだとは思いますが、今現在、文小学校、布川小学校、文間小学校の先生が3分の1ずつ入ってるっていう段階ですので、意思疎通の部分なんかも、やっぱり細かい部分に関しては、一つ一つ確認が必要だったりする部分はあると思うんですよね。そのあたりで先生方の通常の業務に比べれば大変な部分があるということ。

それから、子供たち自身の名前自体が先生たちがわかりませんので、当然この4月5月に関しては、細かな部分の苦労っていうのは、先生たちにはあるようです。

ただ、先生たち一人一人からは聞いてはいないのですが、やはり日にちが経つにつれて、だんだんこう利根小スタイルみたいなのができ上がってきているのか、先生方も少しずつ落ち着いた学校運営になってきているという話は聞いています。

また今日の報告の中にも入れましたティームティーチングの非常勤講師と特別支援教育支援員、すべての先生からも困ってることはありませんかということで、聞きましたけれども、やはり名前がわからないっていうのが最初一番大変だったということでした。

でも、徐々に子供たちのことがわかってきたので、随分落ち着いてきましたっていうのが大半も方々のご意見でしたので、少しやはり時間のかかる部分はあるのですが、いい方向に

は向かっているのかなというふうに私自身は考えております。

○教育長（海老澤 勤君） はい。ありがとうございます。はい。巻島委員。

○委員（巻島 久君） 今、指導課長の方からあった話とだぶるんですけども、うちは、3年生と5年生に孫がお世話になって、よく話を聞くんですけど、どうかと聞くと慣れてきたとか、そういう話を聞くんですけど、一番は、帰ってきた時の表情をいつも見てるんですけど、お帰りなんて言いながらですね、どうだったと聞くと、楽しかったっていう声をよく聞くので、順調に軌道に乗ってくるのかなあっていう感じがします。あと、指導課長の方からあったんですけど、学校すごく楽しくて、勉強も、普通にやってるんだけど、ちょっとうるさいんだよねっていう、そのうるさいっていうのが何て言いますかね、楽しい雰囲気も含まれてるちょっとうるさいんだよね、みたいな、ものだったので特に全然心配してないんですけど、今まで文小は15人ぐらいの教室でしんみり、個別指導に近いような授業をしてるところから、急に40人近い学級になったので、もうそれだけで、うるさいのかもしれないんですけど、逆に言ったら、活気が出て、ちょっと自分の意見が取り上げてもらえなかったとかね、そういう意味も含まれているんだと思いますので、順調かと思えます。

それで、一つ申し上げたいのは、非常にバス通学に関しては順調なスタートを切ったと思えます。学校教育課の全面バックアップとか、先生方のいろんなお骨折りであったと思うんですが、慣れてきた頃がまた事故が起きやすいので、9月の頭というか9月いっぱいだけは、また気持ちを引き締めて、生徒指導上問題がないかどうか、人間関係も含めてですね、それからバスの乗り降り等に関しても、今度暑い時期ですので、万が一降ろしはぐってしまったとか、バスに取り残しちゃったなんてなると、命に関わることになりますので、時期的にですね、4月5月とはまた違う状況になると思えますので、9月はもう一度、先生がたに骨を折っていただいて、逆に言ったら9月の終わり頃に、保護者のアンケートでも取って、どうでしょうか、現在の子供たちの様子は、みたいに客観的なデータを取ってですね、今後どこに力を入れていったらいいのかっていうのを、学校や教育委員会が全部は、保護者はこういうところを心配してるんだとか、こういうところは、すごく安心してらるんだとかそういう意味で、9月、いろんな意味で調査をしたり、もう1回力を入れて登下校の様子を見たり、人間関係を見たりっていう時期かと思えますので、私どもも含めて子供の様子をもうちょっと、なんて言いますかね、慎重に見定めなくちゃいけない時期かなっていうのを感じましたので、よろしくお願ひしたいと思えます。

○教育長（海老澤 勤君） はい。中村課長。

○学校教育課長（中村 寛之君） ありがとうございます。

こちらとしましても確かに9月、夏休み終わってからっていうことで考えておりましたので、そこについては今度、4月当初の時には、朝のバスに、添乗をさせてもらったんですけど、13台、今度はちょっと帰りのバスに添乗して、その辺の様子を確認っていうのを、最初の29日からですか。になると思うので、29日から1週間程度、教育委員会側としてはやりたいと考えております。アンケートにつきましてもおっしゃる通りだと思うので、これは

検討していきたいと思います。ただ、今、学校の方で子供たちだけは、1ヶ月に1回ですか。アンケートを実施して、いじめ問題とか、そういうのもやっておりますので、そちらについてもこちらで確認しながら、一緒に進めていきたいと思います。

○委員（巻島 久君） それ以外の部分で抽出してもいいし、あと、1年生や2年生だけの早帰りの日だけを抽出して、一番こう、何て言いますかね、トラブル等が起きたら大変なところに集中して観察するとか、やり方はいろいろあるかと思いますがけれども、みんなで見守って行って、やっぱり統合してよかった、いいスタートを切ってよかったってみんなでいえるようにしないと。恥かっちゃって、住民の一部の人みたいにな、統合しない方がよかったのかなっちゃうと意味がないので、よろしく頑張ってくださいと思います。

○教育長（海老澤 勤君） 他にありますか。はい。指導課長。

○指導課長（丹 晴幸君） 今アンケートのことということでお話いただきました。学校の方は学校評価アンケートの形で、生徒保護者、それから教員からもアンケートをとることになりますので、年2回実施することになると思いますから、この統合に絡む質問項目を入れてもらえるように、こちらから話しさせてもらって、何らかの形でアンケート集約できるようにしていきたいと思います。

○教育長（海老澤 勤君） はい。生涯学習課長。

○生涯学習課長（弓削 紀之君） はい。それでは生涯学習課の方からイベントのお知らせをしたいと思います。まず音の町利根ふれあいコンサートなんですが、6月3日土曜日、午後1時から利根町文化センターで開催いたします。出場団体の方は6団体出場予定です。

あともう一つ、デジタル高画質で観る利根町大絵馬展ということで、6月12日月曜日から6月30日金曜日まで役場イベントホールと多目的ホールで、開催いたします。利根町の神社仏閣にあります、絵馬等をデジタル画質で撮った写真なんですが、貴重な資料40点を展示する予定でございます。都合が合えば、ぜひご覧いただきたいと思います。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） はい。ありがとうございます。

私の方からも5月19日、統合の開校式、ありがとうございました。

444名の児童のスタートということで1年生2年生がほぼ真ん中にいたのは、教育委員さんも見てください。ちょっと落ち着かない子が何名かいたようですけれども、やっぱりそういうその集団の生活をやっぱり学ぶ場として小学校というのはあるんだろうと思います。我々が関われる部分というのは本当に微々たるものなんですけれども、先生方にそういったしつけの面でもね、これからお願いしたいなというところです。

それから役場庁内の連絡網といいますかネットの中にですね、早尾台の自治会報という広報紙が載っていました。その中に、ボランティアで朝のスクールバスの子供の乗り降りをお手伝いしている写真があったんですね。これまで統合反対をされていた方々だろうと思うんですが、やはり地域の方々が子供たちの育ちを温かい思いで見守ってくれているんだなあという記事でした。課長からもあったように、学校と地域と教育委員会とですね、3者が連携して子供たちの育ちを良い方向へ、あるいは温かい方向へ持っていきたいと思いま

すので、教育委員さんにも、これからもご支援をよろしくお願ひしたいと思ひます。

他にいかがでしょうか。はい。佐藤委員。

○委員（佐藤 忠信君） 地固め唄の実行委員長から4年生が今、地固め唄を教わつてると、1コマですか。それで、5年生がよさこいでした。5年生6年生になるとまた違つた伝統文化を1コマ学ぶということがあつたんですが、これやっぱり学年で固定するものなのか。総会で出たのは、やっぱり子供たちに定着したいという思ひもあるようで、例えば5年生6年生になつても、そういった学ぶ場ができないのかなと思つたもんですから、教育の場ではなかなか難しいですかね。どちらかというとな社会教育に近いのかなとは思ひんですが。

○指導課長（丹 晴幸君） 統合前なんですけれども、教育計画をそれぞれ3小学校集まつて考える際になんですけれども、それぞれの学校で行われてる特色を、偏りなくやってみようっていう話し合ひがありました。ですので、地固め唄を残していきたいっていうところから4年生あたりで、布川小学校で行われていたさくらっこばやしという活動、これも残しておきたいから5、6年で、という形で、今の形ができ上がつてると思ひます。ですので、今3小学校をうまく、伝統をなくしてしまわないっていうところから立てられてる教育計画だと思ひますよね。ですので地固め唄の方々からすれば、もちろんそこを膨らませてっていうのもあるでしょうけれども、それぞれの授業時間数には限りがありますので、今年に関しては、このそれぞれの学校のよさを引き継ぐ形で利根小学校の教育ができるといいのかなというふうには思つてますね。

○委員（佐藤 忠信君） わかりました。ちょっと実行委員長から聞かれたので、私も把握してなかつたもんですから、もしそういうことを聞かれましたら、今、そういう計画で動いてるということでお伝えしたいと思ひます。以上です。

○教育長（海老澤 勤君） 1週間で30時間。1日6時間やつたとして、5日間、30コマしかないんですよ。だから、その1時間を4年生の1時間をいただいて、利根地固め唄に割り当ててると。だから、音楽でお囃子を取るということも考えられなくはないんだろうけれども、なかなか難しいですよ。時間割を作っていくっていうのは。

○委員（佐藤 忠信君） わかりました。ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） はい。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ声あり〕

○教育長（海老澤 勤君） はい。以上で令和5年5月の教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

午後4時16分閉会